

§3.3 ベクトルの垂直

次の定理が成り立ちます。

定理 3.3.1 実ベクトル空間の任意のベクトル \mathbf{a} と \mathbf{b} について、 $\mathbf{a} \neq \mathbf{0}$ かつ $\mathbf{b} \neq \mathbf{0}$ のとき、

$$\mathbf{a} \text{ と } \mathbf{b} \text{ とが成す角度が } 90^\circ \iff \mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = 0 .$$

証明 ベクトル \mathbf{a} と \mathbf{b} について $\mathbf{a} \neq \mathbf{0}$ かつ $\mathbf{b} \neq \mathbf{0}$ とする。 $|\mathbf{a}| \neq 0$ かつ $|\mathbf{b}| \neq 0$. \mathbf{a} と \mathbf{b} とが成す角度を θ とおく。定理 3.1 より

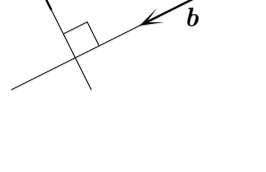
$$\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = |\mathbf{a}||\mathbf{b}|\cos\theta .$$

$\theta = 90^\circ$ ならば、 $\cos\theta = \cos 90^\circ = 0$ なので、 $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = 0$. 逆に、 $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = 0$ ならば、 $|\mathbf{a}||\mathbf{b}|\cos\theta = 0$, $|\mathbf{a}| \neq 0$ かつ $|\mathbf{b}| \neq 0$ なので $\cos\theta = 0$, $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ なので $\theta = 90^\circ$. (証明終り)

この定理より、ベクトル \mathbf{a} と \mathbf{b} とが垂直であることを次のように定義します。

定義 実ベクトル空間のベクトル \mathbf{a} と \mathbf{b} とが垂直であるとは、 $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = 0$ となることである。平面ベクトル \mathbf{a} と \mathbf{b} とが垂直であることを次のように書き表す： $\mathbf{a} \perp \mathbf{b}$.

零ベクトルでないベクトル \mathbf{a} と \mathbf{b} とが垂直であるとは、 \mathbf{a} と \mathbf{b} とが成す角度が 90° であることなので、例えば右図のように \mathbf{a} を表す有向線分と \mathbf{b} を表す有向線分とが垂直であることです。



定理 3.3.2 実ベクトル空間の任意のベクトル \mathbf{a} について $\mathbf{a} \perp \mathbf{0}$.

証明 $\mathbf{a} \cdot \mathbf{0} = 0$ なので $\mathbf{a} \perp \mathbf{0}$. (証明終り)

定理 3.3.3 実ベクトル空間の任意のベクトル \mathbf{a} と \mathbf{b} について、

$$\mathbf{a} \perp \mathbf{b} \iff \mathbf{b} \perp \mathbf{a} .$$

証明 $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = \mathbf{b} \cdot \mathbf{a}$ なので、

$$\mathbf{a} \perp \mathbf{b} \iff \mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = 0 \iff \mathbf{b} \cdot \mathbf{a} = 0 \iff \mathbf{b} \perp \mathbf{a} .$$

(証明終り)

例題 変数 x について次の条件をなるべく簡単にする：平面ベクトル $(x, x+2)$ と $(3, 4)$ とが垂直である。

$$\begin{aligned} (x, x+2) \perp (3, 4) &\iff (x, x+2) \cdot (3, 4) = 0 \\ &\iff 3x + 4(x+2) = 0 \iff 7x + 8 = 0 \\ &\iff x = -\frac{8}{7} . \end{aligned}$$

ベクトル $(x, x+2)$ と $(3, 4)$ とが垂直である条件は $x = -\frac{8}{7}$. 終

問題 3.3.1 変数 x について次の条件をなるべく簡単にしなさい：平面ベクトル $(x, 3)$ と $(x, -2)$ とが垂直である。

例題 変数 x について次の条件をなるべく簡単にする：3次元実ベクトル $(x, 5, 6)$ と $(x, x, 1)$ とが垂直である。

$$\begin{aligned} (x, 5, 6) \perp (x, x, 1) &\iff (x, 5, 6) \cdot (x, x, 1) = 0 \\ &\iff x^2 + 5x + 6 = 0 \iff (x+2)(x+3) = 0 \\ &\iff x = -2, -3 . \end{aligned}$$

ベクトル $(x, 5, 6)$ と $(x, x, 1)$ とが垂直である条件は、 $x = -2$ または $x = -3$. 終

問題 3.3.2 変数 x について次の条件をなるべく簡単にしなさい：3次元実ベクトル $(x, -8, 3)$ と $(x, x, 2)$ とが垂直である。

例題 変数 x について次の条件をなるべく簡単にする：座標平面の点 $A = (2, 3)$ と $B = (x, 7)$ と $C = (5, x)$ と $D = (x, 2)$ とに対して、ベクトル \overrightarrow{AB} と \overrightarrow{CD} とが垂直である。

$$\begin{aligned} \overrightarrow{AB} &= (x, 7) - (2, 3) = (x-2, 4) , \\ \overrightarrow{CD} &= (x, 2) - (5, x) = (x-5, 2-x) . \end{aligned}$$

従って

$$\begin{aligned} \overrightarrow{AB} \perp \overrightarrow{CD} &\iff (x-2, 4) \perp (x-5, 2-x) \\ &\iff (x-2, 4) \cdot (x-5, 2-x) = 0 \\ &\iff (x-2)(x-5) + 4(2-x) = 0 \\ &\iff (x-2)(x-9) = 0 \\ &\iff x = 2 \text{ または } x = 9 . \end{aligned}$$

ベクトル \overrightarrow{AB} と \overrightarrow{CD} とが垂直である条件は、 $x = 2$ または $x = 9$. 終

問題 3.3.3 変数 x について次の条件をなるべく簡単にしなさい：座標平面の点 $A = (5, 3)$ と $B = (9, x)$ と $C = (2x, 1)$ と $D = (6, x)$ について、ベクトル \overrightarrow{AB} と \overrightarrow{CD} とが垂直である。

例題 ベクトル平面において、ベクトル $(2, 3)$ に垂直な単位ベクトルを求める。

【解説】 $(2, 3)$ に垂直な単位ベクトルを (x, y) とおく。 $(2, 3) \perp (x, y)$ なので、 $(2, 3) \cdot (x, y) = 0$, よって

$$2x + 3y = 0 . \tag{1}$$

(x, y) は単位ベクトルなので、

$$x^2 + y^2 = 1 . \tag{2}$$

方程式 (1) より $y = -\frac{2}{3}x$, これを方程式 (2) に代入すると、 $x^2 + \frac{4}{9}x^2 = 1$, $\frac{13}{9}x^2 = 1$, $x^2 = \frac{9}{13}$, $x = \pm \frac{3}{\sqrt{13}}$. $y = -\frac{2}{3}x$ なので、 $x = \frac{3}{\sqrt{13}}$ のとき $y = -\frac{2}{\sqrt{13}}$, $x = -\frac{3}{\sqrt{13}}$ のとき $y = \frac{2}{\sqrt{13}}$. 従って $(x, y) = \left(\frac{3}{\sqrt{13}}, -\frac{2}{\sqrt{13}}\right)$ または $(x, y) = \left(-\frac{3}{\sqrt{13}}, \frac{2}{\sqrt{13}}\right)$. 故に、 $(2, 3)$ に垂直な単位ベクトルは $\left(\frac{3}{\sqrt{13}}, -\frac{2}{\sqrt{13}}\right)$ と $\left(-\frac{3}{\sqrt{13}}, \frac{2}{\sqrt{13}}\right)$. 終

問題 3.3.4 ベクトル平面において、ベクトル $(-6, 8)$ に垂直な単位ベクトルを求めなさい。

例題 3次元実ベクトル平面において、ベクトル $(2, 3, -2)$ 及び $(3, 4, -4)$ の両方に垂直な零ベクトルでないベクトルの一つを求めなさい。

【解説】 ベクトル $(2, 3, -2)$ 及び $(3, 4, -4)$ の両方に垂直なベクトルを (x, y, z) とおく。

$$(2, 3, -2) \cdot (x, y, z) = 0 \text{ なので } 2x + 3y - 2z = 0 \dots (1) .$$

$$(3, 4, -4) \cdot (x, y, z) = 0 \text{ なので } 3x + 4y - 4z = 0 \dots (2) .$$

等式 (1) より $4x + 6y - 4z = 0$, これから等式 (2) を辺々引くと、 $x + 2y = 0$, $x = -2y$. 等式 (1) より $2z = 2x + 3y = -4y + 3y = -y$, $z = -\frac{1}{2}y$. $y = -2$ とする。 $x = 4$ かつ $z = 1$. ベクトル $(2, 3, -2)$ 及び $(3, 4, -4)$ の両方に垂直な零ベクトルでないベクトルの一つは $(4, -2, 1)$ である。 終

問題 3.3.5 3次元実ベクトル空間において、ベクトル $(3, -2, 2)$ 及び $(4, -3, 5)$ の両方に垂直な零ベクトルでないベクトルの一つを求めなさい。

定理 3.3.4 座標空間の任意の点 A と B と C について、 $A \neq B$ かつ $B \neq C$ のとき、角 ABC の劣角 $\angle ABC$ について、

$$\text{角 } ABC \text{ が直角である} \iff \overrightarrow{BA} \perp \overrightarrow{BC} .$$

証明 点 A と B と C について $A \neq B$ かつ $B \neq C$ とする。 $0^\circ \leq \angle ABC \leq 180^\circ$ なので、

$$\text{角 } ABC \text{ が直角である} \iff \angle ABC = 90^\circ \iff \cos \angle ABC = 0 .$$

$A \neq B$ より $|\overrightarrow{BA}| \neq 0$, $B \neq C$ より $|\overrightarrow{BC}| \neq 0$. 定理 3.2.2 より $\cos \angle ABC = \frac{\overrightarrow{BA} \cdot \overrightarrow{BC}}{|\overrightarrow{BA}||\overrightarrow{BC}|}$ なので、

$$\cos \angle ABC = 0 \iff \frac{\overrightarrow{BA} \cdot \overrightarrow{BC}}{|\overrightarrow{BA}||\overrightarrow{BC}|} = 0 \iff \overrightarrow{BA} \cdot \overrightarrow{BC} = 0 \iff \overrightarrow{BA} \perp \overrightarrow{BC} .$$

故に

$$\text{角 } ABC \text{ が直角である} \iff \overrightarrow{BA} \perp \overrightarrow{BC} .$$

(証明終り)

例題 次のような実数 x を求めなさい：座標平面の点 $A = (2, 1)$ と $B = (7, 4)$ と $P = (x, 0)$ について角 APB は直角である。

【解説】 定理 3.3.4 より、角 APB が直角であることは、ベクトル \overrightarrow{PA} と \overrightarrow{PB} とが垂直であることと同値である。 $\overrightarrow{PA} = (2, 1) - (x, 0) = (2-x, 1)$, $\overrightarrow{PB} = (7, 4) - (x, 0) = (7-x, 4)$ なので、

$$\overrightarrow{PA} \perp \overrightarrow{PB} \iff (2-x, 1) \perp (7-x, 4) \iff (2-x, 1) \cdot (7-x, 4) = 0$$

$$\iff (2-x)(7-x) + 4 = 0 \iff x^2 - 9x + 18 = 0$$

$$\iff (x-3)(x-6) = 0$$

$$\iff x = 3 \text{ または } x = 6 .$$

故に 3 と 6 とである。 終

問題 3.3.6 次のような実数 y を求めなさい：座標平面の点 $A = (2, 9)$ と $B = (3, 2)$ と $P = (0, y)$ について角 APB は直角である。

例題 次のことを示す：実ベクトル空間の任意のベクトル \mathbf{a} と \mathbf{b} とに対して、ベクトル \mathbf{a} と $(\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})\mathbf{a} - |\mathbf{a}|^2\mathbf{b}$ とは垂直である。

【解答】

$$\begin{aligned} \mathbf{a} \cdot \{(\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})\mathbf{a} - |\mathbf{a}|^2\mathbf{b}\} &= \mathbf{a} \cdot \{(\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})\mathbf{a}\} - \mathbf{a} \cdot |\mathbf{a}|^2\mathbf{b} = (\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})(\mathbf{a} \cdot \mathbf{a}) - |\mathbf{a}|^2(\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}) \\ &= (\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})|\mathbf{a}|^2 - |\mathbf{a}|^2(\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}) \\ &= 0 . \end{aligned}$$

故に \mathbf{a} と $(\mathbf{a} \cdot \mathbf{b})\mathbf{a} - |\mathbf{a}|^2\mathbf{b}$ とは垂直である。 終

問題 3.3.7 次のことを示しなさい：実ベクトル空間の任意のベクトル \mathbf{a} と \mathbf{b} とに対して、ベクトル $|\mathbf{b}|\mathbf{a} + |\mathbf{a}|\mathbf{b}$ と $|\mathbf{b}|\mathbf{a} - |\mathbf{a}|\mathbf{b}$ とは垂直である。